

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、外食や外出等を控えている状態であり、散歩の機会も減ってしまっている状態。そのことにより身体を動かすことが減ってきてしまっている(身体機能の低下が懸念される)。	定期的に身体を動かす機会を設け、身体機能を維持できるようにしていく。	階段の昇降やホーム内を歩くことだけでなく、例えば「テレビ体操」の時間にあわせて、入居者と職員とで一緒に身体を動かすようにしていく。	6ヶ月
2	49	新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、外食や外出、面談も制限している状態が入居者と入居者の家族にとって、ストレスとなってしまう状態。	コロナをはじめとする、感染症の流行状況を把握しながら、外出や面会の制限を緩和できるようにしていく。	1. 外出支援については、感染症対策を徹底し、施設から職員と一緒に外出をする場合には、あらかじめ日時を決めることで、人員を確保できるようにしていく。2. 入居者家族へは、毎月郵送をしている「ゆうなぎ変わら版」で面会について伝えていく。	6ヶ月
3	36	不穏や帰宅願望の訴えが強い入居者に対して、説明や声かけでしっかりと症状を軽減できず、不穏状態が継続してしまうことがある。その状態を見ている他入居者も不穏状態となってしまう時もみられている。	不穏状態等を軽減することができるように、職員間で統一した対応をできるようにしていく(入居者が混乱しないようにしていく)。	日々の業務の中での声かけの成功例等を記録に残し、職員間で共有をしていく。※声かけの内容を可能な限り詳細に記録する。家族に直接話をしてもらうことで、落ち着いた事例もあるので、週に1度電話をする等、家族の負担になることがない程度に協力を依頼してみる。	5ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。